

# 三重県の物価に関するトピックス

平成 29 年 2 月

三重県戦略企画部 統計課

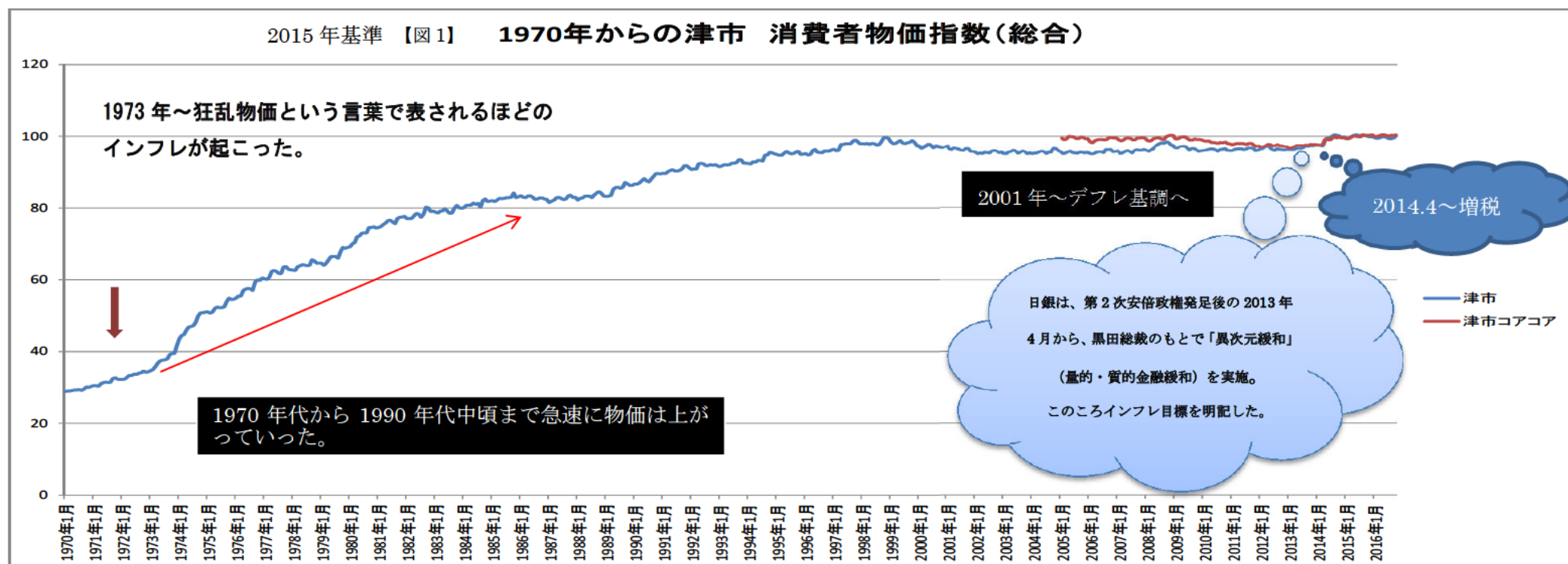
## 1、現在の物価指数

消費者物価指数（平成 28 年 11 月）は津市では、総合指数 100.2（H27=100）となり、前年同月で 0.4%増、2 か月連続で前年同月比増となった。

平成 28 年は 5 年に 1 度の消費者物価指数（総務省統計局 小売物価統計調査）の基準改訂年であった。

全国の総合指数は 2015 年を 100 として 11 月は 100.4 となり、前年同月に比べ 0.5%の上昇、2 か月連続で前年同月比増だった。

内閣府によると、我が国が月例経済報告で「持続的な物価下落という意味でのデフレ状況」にあると記載されたのは 2001 年のことだったが、今後の長期的な見通しとして、日銀の「経済・物価情勢の展望」、内閣府「消費動向調査（物価の見通し）」ともに物価の上昇を見込んでいる。



11月 全国コアコア（食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合）100.5 前年同月比0.1%増

11月 津市コアコア 100.4 前年同月比0.0%

インフレ目標の数値は「物価動向の分析にあたっては、現実に観測される消費者物価の動きから、様々な一時的要因の影響を取り除いた、基調的なインフレ率（いわゆる「コア指標」）がよく利用されています。その際には、特定のコア指標に依存するのではなく、様々なコア指標を総合的にみていくことによって、基調的な物価変動をよりの確に把握することができると考えられます。」と日銀ではとらえています。最近ではコアコアの動きを見ているようです。

2、対前年上昇率

【図2】 三重県 平成27年平均 対前年上昇率(2010年基準)

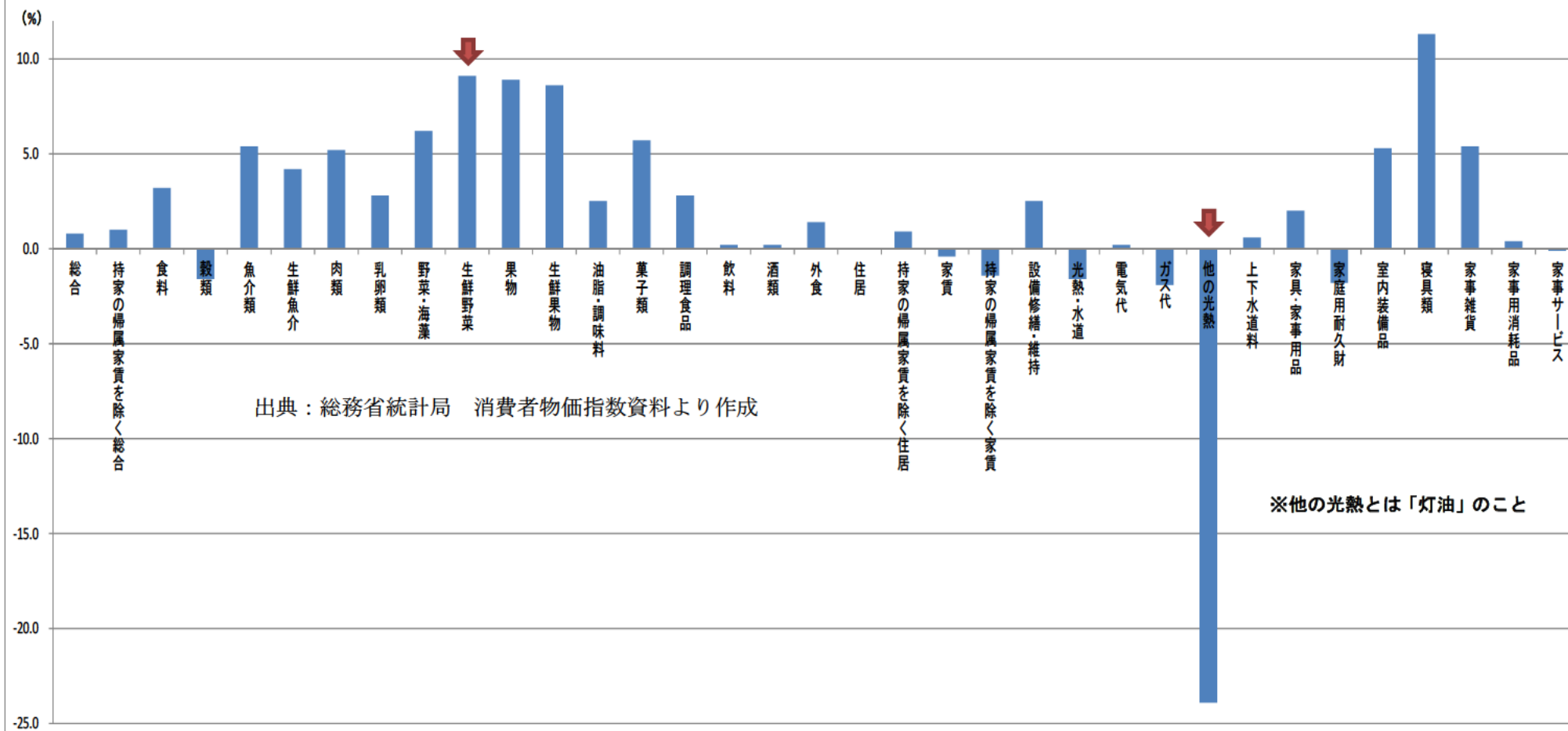


図2でみられるように生鮮野菜と果物などの食品の上昇がみられた。他の光熱は原油価格の下落による影響で下がったもの。総合物価の上昇幅は平成26年度よりも小さい。

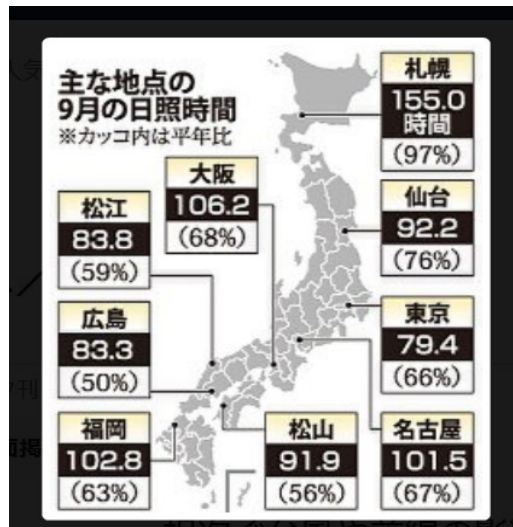
### 3、野菜価格の動向

身近に感じる物価上昇の例としては、日照時間の減少による野菜の価格の動向がある。(図4、図5、図6)  
 農林水産省の野菜価格動向調査(図4)によるとここ五年の平年比で、上昇しており、三重県においても、全国と同様の傾向がある。鈴鹿市の給食騒動が報道された秋ごろは、こういった状況にあり、野菜の値段が上昇した。  
 現在も図4、図6にあるように主要野菜の品目で物価上昇がみられる。

【図4】

調査名		キャベツ	レタス	たまねぎ	きゅうり	トマト	はくさい	だいこん
29年1月3週	平年比	103%	64%			117%	143%	111%
28年12月4週	平年比	171%	121%			134%	172%	153%
28年11月4週	平年比	169%	157%			132%	163%	142%
28年10月4週	平年比	186%	177%	107%	158%	119%		
28年9月4週	平年比	118%	98%	122%	99%	103%		

【図5】



出典：毎日新聞オンライン

【図6】

【参考】主要な野菜の消費者物価指数の推移(14品目)  
 [全国 平成28年1月～12月]  
 (平成28年11月25日公表 総務省 消費者物価指数)

(指数 平成27年=100)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
だいこん	71.1	84.5	91.2	108.3	105.6	100.3	124.1	117.2	134.0	141.4		
にんじん	88.0	86.7	86.1	102.0	115.9	110.0	106.1	126.3	160.1	181.0		
はくさい	64.6	75.0	112.2	139.7	125.8	120.5	105.6	100.2	118.0	141.5		
キャベツ	61.5	67.0	73.5	99.0	102.9	92.1	77.1	67.9	80.9	120.7		
ほうれんそう	95.0	105.9	94.6	94.0	96.1	99.6	116.4	121.3	159.3	169.5		
ねぎ	95.9	95.9	91.0	93.7	122.7	131.1	133.2	115.4	113.7	131.8		
レタス	115.6	117.3	121.1	94.9	78.1	70.4	62.3	65.7	109.9	216.1		
きゅうり	122.7	127.9	107.6	87.7	82.3	84.4	96.3	81.9	99.0	125.6		
なす	124.9	137.8	118.0	105.1	98.5	95.2	91.6	80.1	89.7	109.3		
トマト	105.0	117.5	117.4	115.0	96.2	91.1	89.9	88.4	95.7	119.1		
ピーマン	114.4	134.5	124.9	98.3	92.0	83.8	88.9	82.5	83.6	105.5		
ばれいしょ	84.9	93.5	101.4	122.0	124.4	124.3	118.4	114.5	110.3	106.9		
さといも	97.2	101.5	102.6	106.0	110.7	169.8	163.0	148.2	121.2	113.4		
たまねぎ	86.8	87.3	88.2	88.6	90.1	112.0	127.9	140.1	126.4	104.3		

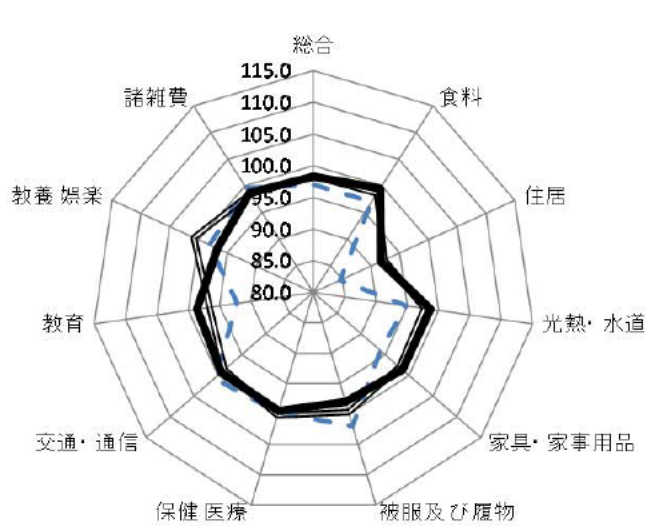
資料：総務省 消費者物価指数(全国)

(注)消費者物価指数とは、全国の世帯が購入する各種の商品(財やサービス)の価格の平均的な変動を指数値で表したものの。口

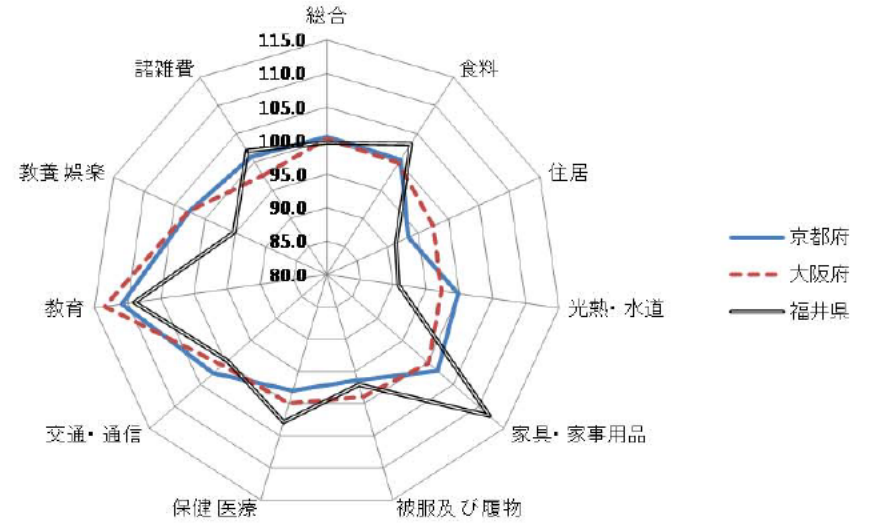
出典：農林水産省 食品価格動向調査(野菜)  
 平成28年9月4週調査～平成29年1月3週調査

三重県は物価地域差指数でみると全体的に全国を100として、ほぼすべての品目において物価が安い。【図8】  
 例年 住居・教育が特に安いのも特徴で、他には岐阜県や群馬県、新潟県、山梨県が三重と同じ類型にあげられる。  
 生鮮野菜価格に関しては、食料をみると、全国の指数とほぼ同じであり、全国レベルでの野菜の価格の動向に左右されやすいことを表している。  
 図10の東京都、神奈川県では、全体的に100を超えている、住居は極めて高いというように、地域の特性がその地域の物価にも反映されている。

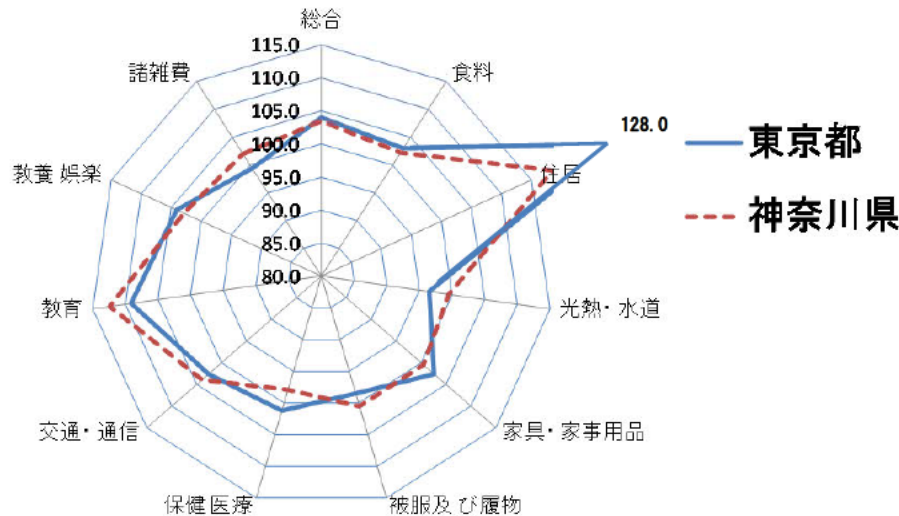
【図8】 平成27年東海三県10大費目



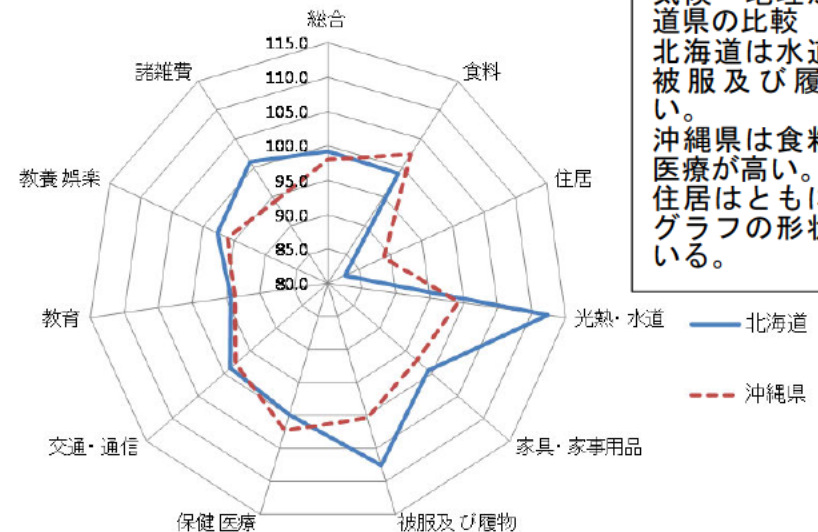
【図9】 平成27年近畿三県10大費目



【図10】 平成27年首都圏二都県10大費目



【図11】 平成27年北海道と沖縄県10大費目



気候・地理が対極の道県の比較  
 北海道は水道光熱と被服及び履物が高い。  
 沖縄県は食料と保険医療が高い。  
 住居はともに安く、グラフの形状は似ている。

